

国土交通経済（平成 15 年 6 月・7 月分）の概況

【公共工事受注（7 月）】

～総じて低調に推移。

公共機関からの受注工事額（1 件 500 万円以上の工事）は、平成 14 年 10-12 月期は対前年同月比 1.6%減少、平成 15 年 1-3 月期同 16.1%減少、平成 15 年 4-6 月期同 13.1%減少の後、7 月は対前年同月比 20.4%減少となった。

【住宅建設（7 月）】

～このところ増加している。

新設住宅着工戸数は、総計 98,718 戸で前年同月比 2.6%増加（2 ヶ月連続）。季節調整済み年率換算値の推移をみると、平成 14 年 10-12 月期 1,125 千戸、平成 15 年 1-3 月期 1,145 千戸、4-6 月期 1,201 千戸、7 月 1,159 千戸となった。

【民間非住宅建設（7 月）】

～持ち直し基調で推移。

民間非居住用建築物着工床面積は、平成 14 年 7-9 月期は対前年同期比 11.4%減少、10-12 月期同 3.6%減少、平成 15 年 1-3 月期同 3.0%増加、4-6 月期同 0.8%増加の後、7 月は対前年同月比 3.5%増加となった。

【貨物交通（6 月・7 月）】

（1）国内輸送

～トラック及び航空は増加、鉄道は減少。

トラック(特積)は、6 月前年同月比 2.4%増加（5 ヶ月ぶり）となり、トラック(一般)も、6 月同 0.6%増加（2 ヶ月連続）となった。宅配は、6 月同 2.5%増加（3 ヶ月連続）となった。鉄道は、7 月同 4.1%減少（4 ヶ月連続）となった。航空(速報：3 社)は、7 月同 6.2%増加（2 ヶ月連続）となった。

（2）国際輸送

～航空は、輸出がほぼ横這いとなり、輸入は増加している。

外国航空会社を含む航空貨物量(速報：成田・関空調べ)は、輸出が 6 月前年同月比 1.8%減少の後、7 月同 1.2%増加に転じた。輸入は 7 月同 3.7%増加（2 ヶ月連続）となった。我が国航空会社の輸送量(速報 5 社：輸出＋輸入)は、7 月同 1.9%減少（2 ヶ月連続）となった。

【旅客交通（6 月・7 月）】

～鉄道は J R がほぼ横這いで、民鉄は微増傾向が続いている。国際航空は SARS の影響で減少しているが、減少幅は縮小、国内航空は増加。

鉄道は、J R 6 社が 6 月前年同月比 0.3%減少（9 ヶ月連続）となった。民鉄は、6 月同 0.9%増加（3 ヶ月連続）となった。国際航空(邦社)は、SARS の影響により、7 月同 28.5%減少（5 ヶ月連続）となったが、減少幅は縮小している。一方、国内航空(速報：9 社)は、7 月同 3.1%増加（2 ヶ月連続）となった。

【観光（7 月）】

～国内旅行取扱額は増加、海外旅行取扱額は SARS の影響で減少しているが、減少幅は縮小。

国内旅行取扱額(主要 50 社)は、7 月前年同月比 4.2%増加（2 ヶ月連続）となった。海外旅行取扱額(主要 50 社)は、SARS の影響により、7 月同 39.0%減少（5 ヶ月連続）となったが、減少幅は縮小している。なお、入国外客数は、7 月同 2.7%減少（4 ヶ月連続）となり、SARS による大幅減から急速に回復している。